

近隣の池の環境美化に貢献するEMだんごの投入

EMだんごとは、EM菌（有機微生物群）の入った米のとぎ汁発酵液とEM活性液を混ぜて発酵させて作成したEMボカシに糖蜜と土を混ぜ合わせ、団子状にしたものである。利用者の日常訓練活動の一環として製造したEMだんごを地元の河川や池に投入する活動を通して、地域の川や池の水質浄化を図っている。

茨城県

社会福祉法人

常陸青山会

〒315-0003 茨城県石岡市谷向町13-23

TEL：0299-22-5811 FAX：0299-22-2577

◇法人設立年

昭和61年

◇法人実施事業

- ①経営施設（事業）数：2施設
- ②経営施設・事業の種類：
障害者支援施設…2

◇法人の理念・経営方針

1. 利用者一人一人の人権を大切に、自立生活の向上を目指します。
2. 家族との関係を重視し、綿密な連携をはかります。
3. プライバシーに関するものを除き、施設内の情報は公開します。
4. 地域の皆様に感謝し、お役に立つ事は実施します。
5. 施設へご来荘のお客様はいつでも心から歓迎します。

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

障害者支援施設 光風荘

【施設種別及び利用定員】

施設入所支援 36名、生活介護 30名、自立訓練（生活訓練）6名 等

◇活動内容

- 活動開始年
平成19年4月
- 活動の対象者
平成19年より生活介護を取得している施設利用者の中から10名程度を選抜し、カリキュラムの一環として活動している。
- 活動の頻度・時間
月曜日から金曜日のうち4日間実施、一回あたりの作業時間は1時間半（EMだんごの製造）

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

当施設では、利用者の作業として3年ほど前より「EMだんご」を製造している。EMだんごとは、EM菌（有機微生物群）の入った米のとぎ汁発酵液、EM活性液を混ぜて発酵させ作成したEMボカシに糖蜜と土を混ぜ合わせ、団子状にしたものである。

10年前よりEMボカシの作成を利用者の日常訓練・社会参加の一環として実施してきた。茨城県心身障害者福祉協会主催の「福祉の店」、市役所、公民館、社会福祉協議会、園芸センターなど9か所で販売し、年間約1,200kgの売り上げがあり、EMボカシの利用が地域に定着していた。

このEMボカシを材料に製造したEMだんごを河川や池などに投入すると、EM菌による発酵分解が起こり、水質が浄化される。現在の深刻な環境問題を背景に、利用者と共に環境美化活動に役立てていきたいと考え、EMだんごの製造を開始した。

◇実施内容

利用者は職員が混ぜた材料を団子状に形成していくが、視覚障害の他にも障害を有している利用者にとって、丸く形成するのは困難を伴った。開始当初はマンツーマンでの指導を繰り返し行い、指先のリハビリを兼ねた時間を設けていた。現在では、半数以上の利用者が1人で丸く形成するという作業ができるようになった。現在まで、約1万5,000個のEMだんごを製造し、「市内まな板池を守る会」、「NPO法人緑の会」、「都内日本橋川をきれいにする会」などに納入してきた。

平成20年には、東京の「日本橋川をきれいにする会」より依頼を受け、EMだんごを日本橋川へ利用者と共に投入した。その際、河川の汚泥、異臭の減少などが評価されたと共に、EMだんごについて地域での理解が広がり、広報効果も上がった。

そして平成22年8月24日、身近な存在である近隣の柏原池公園の池に1,500個のEMだんごを投入した。池の水は連日の

猛暑で濁っていた。気温32℃、水温は35℃と高く、水の流れがほとんどないことが汚泥の原因と思われた。普段カリキュラムに協力いただいているボランティアの方や利用者、職員で池の周りから投入した。結果、EM菌によるヘドロの発酵分解が起こり、水質が浄化された。新聞社による取材が入り、利用者たちは若干緊張した面持ちであったが、「自分たちが地域に貢献している。」「きれいな池になってほしい。」という意識が見られ、生き生きとしている様子がうかがえた。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

①利用者

身近な柏原池公園での活動を通して、これまでよりも作業に積極的に取り組む姿勢が見られる。また、利用者間で話し合っって作業を行うなど協調性も高まった。「これからも池の水質浄化のために継続してEMだんごを投げ入れたい」、等の意見が聞かれた。

②職員

利用者と共に環境美化に取り組めたことを強く実感し、達成感を味わえた。今後も活動を継続していきたい。

③地域の反応・影響

今回の活動が新聞に掲載されたことにより、当施設での作業内容とEMだんごについての広報効果が高まった。

◇今後の展開

今回の柏原池公園へのEMだんご投入を機に、利用者、職員ともに環境美化についての意識が高まった。柏原池については、今後も行政等の関係機関と連携しながら、EMだんごを投入することで水質浄化につなげていきたい。また、活動範囲を広げることで、利用者の意識向上への支援に努めていきたい。



◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
材料費等	160,369円	EMボカシ等 販売収入	666,661円
光熱水費等	41,033円		
工賃等	462,259円		
<合計>	666,661円	<合計>	666,661円

※金額は21年度の実績額

・取り組みにかかわった職員数 5名
(職種等：介護指導職)